

クリエイティブセンター阿波座

クリエイティブな都市型産業の連携推進と政策研究の拠点

デザイン関連産業を中心とする事業者集積地域の中心に位置する本プラザは、クリエイターのオフィススペースが入居する改装されたビルの一隅にあります。ここでは、「扇町プラザ」の機能を引継ぎ、大阪市全体の創造産業を対象に、その発展に向けた政策研究と連携活動の推進をめざします。

ぺちやくちゃ× Creative Stream OSAKA



ぺちやくちゃ大阪の参加メンバー

2009年11月21日(土)、「大阪創造都市市民会議」、「クリエイティブストリーム OSAKAを盛り上げる会」との共催で、大阪市役所ロビーを会場にクリエイティブイベント「ぺちやくちゃ×Creative Stream OSAKA」を開催した。このイベントは世界250都市以上で開催されているクリエイティブイベント「Pecha Kucha」(<http://www.pecha-kucha.org/>)の大阪初開催のもので、会場には20組以上の発表者と300人以上の観衆が詰めかけた。

「Pecha Kucha」は、都市にいるクリエイティブな人々を市民が知り、交流できるフォーマットとして、民間による創造都市の非営利な促進に効果があり、この大阪初かつ市役所ロビー初の都市経済系イベントにおいても、社会起業家、デザイナー、園芸家など広く創造性のある営みを行なっている先導的若手がそれぞれの活動を発表し、広い視野でのそれぞれの創造的な連携の可能性が生まれるものになった。

2010年1月、都市研究プラザは扇町プラザを西区に移転させ、「クリエイティブセンター阿波座」となった。今後もこのような大阪における創造的な活力の顕在化と連携による実践的研究を広げて行く予定である。

■岡田智博(クリエイティブセンター阿波座研究補助スタッフ)

クリエイティブ・ミーティング at 阿波座 01



ミーティングの風景

2月1日から新プラザの「クリエイティブセンター阿波座(CCA)」が、活動を開始しました。北は福島から南は堀江、北加賀屋・南港まで連なる、大阪の西のクリエイティブ集積軸の中心部に位置する、クリエイターのオフィスを集めたACDCビル(2010年1月にオープン)にあり、大阪における都市型産業としてのクリエイティブ産業のリアルタイムな発展を研究し、支援するセンターとして活動を開始しています。

2月10日(水)に最初のイベントとして「クリエイティブ・ミーティング at 阿波座01」を開催しました。ACDCビルのプロデューサーでありクリエイティブディレクターのヤマモトヒロユキ氏、若手を中心に国際水準のデザインを大阪で展開することを目指すDESIGNEAST実行委員会、そして、四半世紀にわたり世界のク

リエイティブ社会を追い続けてきた武邑光裕氏(札幌市立大学教授)を招き、「10年代OSAKA創造クラスターの可能性」をテーマに、約70人の参加者とともに、「民間としてのクリエイター主導で、世界のクリエイティブと結び付けることで大阪を活性化」(ヤマモト氏)、「大阪を意識せず世界水準で仕事をできる環境をつくる」(DESIGNEAST)、「若いクリエイターの独創的な創造力を世界規模で競わせる環境をつくることで社会が創造的に再生する」(武邑氏)といった経験など、様々な情報提供をもとに議論を深めました。

■岡田智博(クリエイティブセンター阿波座研究補助スタッフ)